

水の大切さ

東山小 三年 小池 あいら

「ああ、おいしい。」

わたしは、水が大すぎです。あつい日や体いくの後にのどがかわいたとき、つかれたときによく水をのみます。

水は、とても大切です。人や動物は、水のをまないと生きていかれないし、毎日の生活の中でたくさん使われています。でも、もし水がなくなったら、お風呂に人れなくなっ

り、手をあらうことができなくなったり、水がのめなくなったり、食事をした後のおさがあられなかったりと、こまっていたことがたくさんあります。わたしは、これは大いんだなと思いました。

わたしのいところが、マレーシアにすんでいます。それで、おばあちゃん、マレーシアに行つたことがあります。おばあちゃんに、「マレーシアの水は、どうだったか」と、聞いてみました。そうしたら、

「おいしくない。」

と、言っていました。

「どうして。」

と、聞くと、

「ぬるくて、くすりのにおいも、くすりの味

もするから。」

と、話してくれました。マレーシアでは、水

道は、のむものじゃないそうです。日本で

は、じゃ口をひねればおいしい水がいつでも

のめるのは、ふしぎだなと思いました。日本

とマレーシアの水のちがいを、おばあちゃん
からもっと聞きました。

日本では、水道水を、ふつうにのんでいる

す。水とうに入れて持ち歩いてのんでいる人
もいます。つめたくしてのむと、おいしいで

す。ですが、マレーシアの水は、おばあちゃん

んがのめないのでなくて、おさちあらいな

ごあらいものに使うて、それいがいは、のま

ないのだそうです。のみ水は、お店で買って

のんでいると教えてくれました。

6

5

日本は、いつでもどこでも、きれいなおいしい水がのめます。これは、日本のいまんです。わたしは、これからも、水を大切にしたいと思っています。